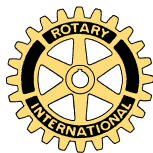


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードン R. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 英樹
幹事 石川 泰隆
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3208回例会プログラム

[当年度 = 6 回目；当月 = 3 週目]

2023年（令和5年）8月21日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:15 〈食 事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点 鐘……〈会 長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱

……それこそロータリー

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 会長挨拶並びに会長報告

7. 幹事報告

8. 出席報告

9. 委員会報告

10. ニコニコボックス報告

11. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(8/28) ……

クラブフォーラム（出席委員会）

通年皆出席者および前年度皆出席者表彰

(9/4) ……

クラブフォーラム（雑誌委員会）

卓話 「ロータリーの友について」

講師 雑誌委員長 加藤大志朗 会員

2. クラブフォーラム……………〈会員増強委員会〉

13:00 卓話 「刈谷 RC の10年後に向けて」

講師 地区会員増強委員会

副委員長 木所 壮太 様（豊橋東 RC）

（紹介者 關 淳之 会員）

12. 謝 辞

13. 点 鐘……〈会 長〉

14. 閉会宣言

13:30 15. 散 会

出席

会員総数 96名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠 席 8名 出席率 90.09%
前々回（7/31）の修正出席率 100%

会長報告

1) RI ロータリー財団より、マルチプルポールハリスフェロー4回目のバッチを深谷嘉英会員に、2回目のバッチを小川耕示会員に、1回目のバッチを關淳之会員に届いております。



深谷 嘉英 会員



小川 耕示 会員



関 淳之 会員

2) 太田保会員に米山記念奨学会からの感謝状をお渡しします。



太田 保 会員

幹事報告

- 1) 8月のロータリーレートは1ドル141円となりました。
- 2) ロータリー日本財団より確定申告用寄附金領収書が届いております。

委員会報告

●社会奉仕委員会

秋田豪雨災害義援金のお願いです。義援金ボックスをまわしますので、よろしく願います。

会長あいさつ

加藤 英樹



お盆は有意義に過ごされましたか？
台風が襲来したので予定変更を余儀なくされた方もいたかもしれませんが、コロナ明けで久しぶりにいろいろな方との出会いもあったかと思えます。

また、先週末は刈谷わんさか祭りでした。コロナ前と変わらず盛大に開催され、刈谷ロータリークラブとしてもスターマインの協賛をさせていただきました。多くの方に日本の美しい花火を楽しんで頂けたと思います。いろいろなことがコロナ前の状況に戻つつあります。

さて、今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

ロータリー活動を続けていく上で会員増強は大変重要なポイントです。広くロータリー精神を理解して頂くた

(2)

めには多くの対外的な活動をしなければなりません。その活動を継続していくためにも活力ある会員で構成されたロータリーでなければなりません。そして、そんな活動を共に行っていく多様性に富んだ新会員に入会して頂くためには、健全なクラブでなければなりません。

では、刈谷ロータリークラブの現状はどのようになっているでしょう。

年齢構成的には40歳代から50歳代までの会員は37.5%。60歳代から70歳代までの会員は48.3%。80歳代から90歳代までの会員は13.9%となっており、最年長は池田憲司会員の95歳。最年少は岡本知樹会員の41歳となっております。アクティブに活動できる年齢層が厚いので問題ないように思いますが、もう少し40歳代の会員を増やして次世代を育てていくべきだと感じます。

在籍年数を見ても、ベテランである40年以上の方が10名。中堅と言われる10年以上20年以下の方が29名。6年以下の方が29名とやや経験年数の少ない会員が30%を占めています。コロナ禍の3年間は以前のような活動ができていなかった事を考えると、今後の活動には是非積極的に参加して頂き、ロータリー精神を理解して頂き、ロータリー活動を楽しんで、そして学んで頂きたいと思えます。

職業分類的にみてもどうでしょう。やはり土地柄を反映して製造業の方が多く特に自動車関係の方が多くなっております。多様性の観点から見ても、もう少しサービス業等に関わる方が多く入会して頂き、クラブ内の活性化を計っていくべきだと思います。

そして、70年の歴史を持つ刈谷ロータリークラブですので、私もそうですが祖父の正平、父の英二、私と3代にわたって入会されている方もいます。現在でも野村家、内藤家、神谷家、盛田家、岡本家、加藤家と6組の親子会員もいらっしゃいます。

日ごろから派閥もなく皆さん分け隔てなく交流しているからこそ寛容性の高いクラブとなっており、私達のような親子会員も入会しやすいのだと思っております。

ただ、最近の2代目、3代目はBモーターや、Y養蜂場のような問題を起こしているの、特に僕も気をつけなければいけないなあと思っておりますが…。

もう一つ刈谷ロータリーで特徴あることは退会者が少ないことです。

これも先に述べた寛容性や多様性のなせる業であると思えます。

100%出席を長年続けているため、入会するときから厳しくお話してから勧誘しますし、入会にあたっては「私たちの刈谷ロータリークラブ」という素晴らしい冊子を頂けます。1992年に初版が出てから約30年、12回の改訂版を発行しています。本当に先輩方には感謝しかありません。

今後もこの歴史と伝統を大切にしてロータリー活動を続けていきたいと思えます。

以上を踏まえると、刈谷ロータリークラブは健全に運営されているクラブだと分かります。

今後多様性ある新会員を迎えても問題のないクラブだと思っております。

さて、今日は地区会員増強委員会の木所副委員長の卓話となります。いろいろ学ばせて頂き、今後のクラブ運営に活用したいと思います。

よろしく願ひ致します。



卓話「刈谷 RC の10年後に向けて」

講師 地区会員増強委員会 副委員長 木所 壮太 様

刈谷ロータリークラブ 創立80周年に向けて
2023年6月21日(月)
刈谷ロータリークラブ 会員増強委員
RI第2760地区2023-24年度会員増強委員会

国際ロータリー第2760地区 2023-24年度 地区方針
地区活動方針
「各クラブがロータリー(4年制)の発展に貢献するべき」と
「新会員リエンターテインメントを先発3年ロータリーを目標とする」
「インクルーシブなクラブになる事が、退会防止につながる」と

RI2760地区の会員数の推移
2019年 6月 4,817名
2020年 6月 4,742名 -75名
2021年 6月 4,617名 -125名
2022年 6月 4,552名 -65名
2023年 6月 4,528名 -24名
入会者数より、退会者数の方が多い
新会員獲得と同様、退会防止を重視すべし！
RI2760地区に迫られ、会員数№1地区が危うい状況
2023年5月末時点 RI2760地区との差は38名

刈谷RCの会員数の推移
2020年7月1日 92名 6名入会 9名退会
2021年7月1日 94名 8名入会 8名退会
2022年7月1日 100名 12名入会 6名退会
2023年7月1日 93名 6名入会 13名退会
2022-23年度 退会理由
(2023-24年度会員増強セミナーのみのアンケート結果より)
離業上 31%
転勤 38%
健康上 23%
ご逝去 8%
年齢(高年齢)・健康上の理由 30%超
年齢の高い層(60歳以上)の退会 60%超

「従来の会員増強方法の強化」
従来の方法とは、
会員から候補者情報を集め、
対応をクラブで協議し、
ロータリー情報・クラブ情報を伝え、
ゲストとして例会に招待して
入会を勧める

＜従来と違うターゲットの採用＞
若手会員の増強
ロータリーアクティブクラブの変容

ロータリーアクティブクラブの変容
2019年 RI規定審議会
年齢規定の上限(30歳まで) → 撤廃
ロータリークラブへの入会 → 可動
地区活動員 → オンライン参加
参加するロータリークラブを複数 → オンライン参加
可能なロータリークラブの所属 → 複数所属の活用

＜従来と違う方法の採用＞
例会が月2回のクラブ
ウェブ上で例会をするクラブ
会費の安いクラブ
クラブの多様化により
若年層のニーズ
応えられるクラブも
増えてきました。

＜従来と違うターゲットの採用＞
女性会員の増強
女性会員比率
世界 25%
日本 7.3%
2760地区 5.8%
西三河分区分 6.7%
刈谷RC 8.6%

ロータリー女性の集いPART1
10月24日(土) お志願者の開催
酒類がワンストップ、
アムステルダム
ロータリー女性の集いPART2
2月13日(土) 19:00-21:00
よさおの開催
酒類がワンストップ

「例会の開催や取り方を変えてみる」
「クラブの例会の開催と出席に関する懸念をクリア
することで実現することがある。」
「週のある週には、例会日が数日下でなくとも、
例会を取り替えることができる。」
「通常のクラブでも、前もって準備をしておくことで
実現する。」

＜新しい会員の種類の例＞
家族会員 法人会員 若手会員
功労会員 準会員

＜新しいタイプのクラブを作る＞
衛星クラブ
(サテライトクラブ)

衛星クラブとは？
・2013年に新クラブ結成に必要な人数がいらない場合のオプションとして導入された
・結成人数 通常ロータリークラブ→20名 衛星クラブ→5名 →20名超で昇格できる
・衛星クラブにはスポンサークラブが必要
・衛星クラブは独自の例会、会費、理事会、規則を持つ正式なロータリアン
・会員数はスポンサークラブにカウントされる
・会費が年間10万円前後と通常のクラブより安く設定されているところが多い。

健康寿命が延びたことで、ロータリアンが高年齢化
刈谷RC平均年齢 64.53歳(60歳以上が60%超)
入会適齢期
会長は様々、様々な役割を経験する中で、
RCの素晴らしいを知る為には、
ある程度の年齢が必要

親子で入会したくない → クラブへ入会したいが
市内には他にRCがない
父親が他界する頃 → 子供は60歳?
豊橋市5クラブ、岡崎市5クラブ、豊田市4クラブ
一宮市クラブ、安城市2クラブ、西尾市3クラブ
刈谷市 人口16万人 会員数100名 1/1,500人
豊橋市 人口37万人 会員数330名 1/1,000人
刈谷市にはロータリアンが150名いても良い?

＜2022年RI規定審議会の決定＞
◎会員が事業場または住居を所属クラブの所在地内
もしくはその周辺地域に有する要件を撤廃する。
◎会員は、どのクラブに対しても新会員を推薦することができる。
◎複数のロータリークラブで一つの衛星クラブを作ることができる。
◎事務総長への各クラブ出席報告の提出義務を削除する。

インクルーシブなクラブになる事が
退会防止につながる
(酒井ガバナード地区活動方針)
2022年RI規定審議会の決定により、
クラブの行動規範にDEIが採用されました。
DEIとは?
D ⇒ Diversity 多様性
E ⇒ Equity 公平性
I ⇒ Inclusion 包摂

会員増強におけるDEIとは?
多様な社会に貢献できる多様な会員を募集しよう(D)
それらの会員を公平に受け入れよう(E)
そうすれば、会員数は自然に増加していくことになる。
自分が大切にされていると感じ、クラブを好きになり、
自分も社会に貢献できる。目標が達成できます(I)
＜結果＞ 退会する人が減り、
入会する人が増えていきます。

地区が会員減少を食い止める、
増加に転じるために、
刈谷RCの会員増強のためにも、
退会防止は重要。

退会防止は 誰が
どのように担うのか?
それは、会員ひとりひとりが担います。
そう、誰かではなく、あなたです。
私達会員みんなの役割です。

会員は、歓迎され、
仲間に加えられると感じ、
自己成長の機会を得て、
有意義なつながりを持ち、
奉仕に貢献できるとき、
より積極的にクラブに参加するようになります。
クラブの中の
「役割」や「居場所」を意識してみましょう。
お互いを尊重し、認め合うことが大切。

クラブを強くするとは、
会員にとって魅力的なクラブを作ること。
「歴史・伝統、専ら奉仕、青年奉仕、等」
定例会員間に距離感を保つこと。
「例会、委員会活動、義演活動、奉仕活動、等」
退会防止は、
個人や会員に任せられることからは逃れる。
退会防止は、クラブを強くすること。

専ら奉仕(酒井ガバナード地区活動方針)
名古屋の社RC(2022-23年度 地区内会員増強最優秀クラブ)
名古屋の社RC(2022-23年度 地区内会員増強最優秀クラブ)
「歴史・伝統、専ら奉仕、青年奉仕、等」
定例会員間に距離感を保つこと。
「例会、委員会活動、義演活動、奉仕活動、等」
退会防止は、
個人や会員に任せられることからは逃れる。
退会防止は、クラブを強くすること。

マスメディアの活用(加藤会長運営方針)
創立70周年記念事業、国際奉仕事業のPR
インパクトのある奉仕事業
→ 効果的な広報活動(公共イメージ向上)
→ 会員増強(参加者の基盤を広げる)
= クラブ活性化

刈谷RC 創立80周年に向けて
RI DEI(加藤会長運営方針)が達成されて、
会員が多様化(D)、
多様な会員を公平に扱うことができるようになり、
会員ひとりひとりが大切にされていると感じるようになれば、
退会者数は減り、クラブは強くなります。
クラブに与えられた力(権利・機会・チャンス)を活用し、
必要とあらばクラブを変えて、
会員に必要とされるクラブをつくりましょう。
伝統と歴史ある 刈谷RCブランドの向上 (加藤会長運営方針)